

デマンド交通の実証実験について

1. 実験趣旨

本実験については、複数の交通機関に跨る経路検索や決済を一括で可能とするシステムである「MaaS(マース: Mobility as a Service)」の導入や近隣市も含めた広域交通も視野に入れたシームレスな公共交通網を構築するにあたり、まずは町内の公共交通網の効率化を図ることを目的にデマンド交通の導入を検討するものです。

NTTグループにおいては、様々な地域課題をICTの力で解決する取り組みをされており、その一環で国土交通省によるスマートシティプロジェクトにおいて京都府と連携し、けいはんなエリアの交通課題に昨年度より取り組まれています。NTTが当該プロジェクトにおいて交通課題を考える中で、移動需要にあった公共交通網の構築のためには、部分的ではなく精華くるりんバスなども含めた包括的な地域交通の検討が必要との考えが生じ、現在取り組んでいる精華くるりんバスの総括と検証の中での実験実施と位置付けて進めているものです。

2. 実験概要

項目	設定
実施時期	令和3年3月
実施期間	一ヶ月間
運行方式	いわゆるデマンド型で、既存の精華くるりんバスのバス停をベースとした「自由経路ミーティングポイント型」(予約のないバス停は経由せず効率的なルートを走行)による運行を予定
運行車両	ジャンボタクシー(10人乗り) ※コロナ対策として定員は5名に制限
運行エリア	発地: 山田荘小学校区 着地: 役場・図書館前、かしのき苑、祝園駅西広場、アピタ・コーナン前
運賃	200円(実験中に限る。本格運行の際に再度検討。)
運行時間及び頻度	9:00~18:00で1時間に2~3便を予定。(平日・土日ともに)
予約方法	スマートフォンアプリ(現在開発中) 又は 電話
利用対象者	制限なし(外部からの来訪者も利用可)
運行事業者	関西学研都市交通

【実施エリア図】

※赤囲みのバス停が乗降ポイント。山田荘小校区から町の役場周辺へのアクセスを想定しているが緑のエリア内での乗降も可能。

